



香港のビクトリア湾と国際金融街

連携を深めつつ発展する香港・マカオ・中国

皆さんが香港に抱くイメージはどのようなものでしょうか？ 高層ビルと美しい夜景、おいしい中華料理、あるいは元英国植民地としての独特の文化、といったところでしょうか。それらはすべて正解ではありますが、昨今、香港の観光地や高級ショッピングモールでは、地元言葉である広東語や英語と並んで中国語（北京語）が多く飛び交っており、旅行者の中には、その「中国化」したイメージに戸惑われる向きも少なくありません。

中国本土から香港を訪れる観光客は年々増加しており、2010年には香港の総人口の3倍超に当たる2200万人を記録しました。また香港から高速フェリーで約1時間のマカオでも、巨大カジノが中国本土からの観光客であふれています。一方で、広州、深圳といった香港か

らの交通の便が良い中国本土の都市では、香港に引けを取らない巨大高層ビル街が展開されています。

経済面でも、香港、マカオ、広州、深圳といった南シナ海に面した珠江デルタの諸都市は、相互に補完・競争しつつ、貿易・金融、製造業、観光といった各都市の長所を伸ばして目覚ましい発展を遂げています。もちろん、本土・香港間の投機資金が、各地の不動産価格の上昇を加速させるといった負の面もありますが、各地域の結び付きが強まる流れは今後も変わらないでしょう。

現在、香港・広東省（珠海市）・マカオを海上で結ぶ世界最長（全長50km）の港珠澳大橋の建設が進んでいるほか、香港空港と深圳空港を連絡鉄道で接続するプロジェクトも進行中です。こうしたインフラの整備によってヒト・モノの流れは一段と促進され、統合はより深化していくことでしょう。成長する中国と、独特の文化を有する香港・マカオが相互にどのように影響を与え、どのような姿になっていくか、これからも目が離せない日々が続きそうです。（日本銀行香港事務所）



©中国まるごと百科事典 <http://www.allchina.info/>

香港・マカオ（澳門）と中国広東省主要部の位置関係



活況を呈するマカオのカジノリゾート地区